

江南同窓会会報

江南同窓会 荒井寿一

祝 創立100周年

同窓会会長 荒井寿一(高24回)



同窓会員の皆様には、日頃から同窓会活動にご理解、ご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

母校は大正10(1921)年の創立から旧制県立平塚高等女学校時代を経て、昭和23(1948)年に県立平塚女子高等学校と改称。昭和25(1950)年に男女共学の県立平塚江南高等学校として今日に至り、昨年4月に創立100周年を迎えました。これまで記念事業の準備を進めてまいりましたが、コロナ禍のため、当初予定していた多くの事業は一年延期され、本年実施を予定しております。

平塚江南高等学校 100周年記念誌

2022年発行します

- 創立100年の歩み
● 同窓生からの寄稿
● 記念座談会
● 体育祭、江嶺荘、応援団などコラム
● 部活動・生徒会活動紹介
● 同窓会・PTAの歩み

価格 1冊4,000円

ご購入希望の方は同封の振込用紙でご入金ください。2022年秋頃に発行後、お届けします。



90周年記念事業で改修された正門

2021年度総会は紙上にて開催しました

2021年度の同窓会総会は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染防止の観点から、書面による開催とし、併せて恒例となっていた講演会も中止させていただきました。

総会決議については、5月に代議員312名に対して、議案資料および議決権行使用の葉書を送付し、代議員の皆様からの返信を受けて、会則による総会開催日である6月13日をもって賛否を集計いたしました。

創立100周年記念式典 2022年5月13日(金) ひらしん平塚文化芸術ホール(旧平塚市民センター)

2021年度~2022年度役員表: 会長 荒井寿一(高24), 副会長 太田嘉雄(高23), 今坂正(高28), 会計 古正悦子(高26), 小林敦子(高27), 瀨下浩(高18), 築城稔(高33), 監事 瀨下浩(高18), 築城稔(高33)

- 議事
一 2020年度事業報告
二 2020年度決算報告および会計監査報告
三 2021年度事業計画
四 2021年度予算案
五 役員選任案
六 創立100周年記念事業計画および予算案

総会のお知らせ
日時 令和4(2022)年6月12日(日)
会場 母校視聴覚教室にて
講演会 10時30分より
講師 東京医科大学 医学総合研究所教授 落谷孝広氏(高28回)

2020年度 決算報告 (一般会計) 単位:円
収入の部: 前年度繰越金 1,146,700, 入会金 2,051,000, 10年毎会費 620,000, 雑収入 21, 広告料 110,000, 特別資金積立金より 0, 同窓会基金 0, 校外活動援助費 0, 合計 3,927,721
支出の部: 総会費 23,078, 会報費 2,267,115, 会報製作 568,171, 会報発送 1,698,944, 事業費 159,358, 運営費 301,317, 事務用品費 10,000, 通信費 2,130, 慶弔費 0, 学校後援費 247,910, 渉外費 11,000, 予備費 0, 校外活動援助費 0, 次年度繰越金 915,813, 合計 3,927,721

特別資金積立金 (2021.3.31現在)
項目: 同窓会基金 38,049,129, 母校校外活動援助費 0, 元利金合計 38,049,129

2021年度 予算 単位:円
収入の部: 前年度繰越金 915,813, 入会金 1,904,000, 10年毎会費 1,000,000, 雑収入 1,000, 広告料 110,000, 特別資金積立金より 0, 同窓会基金 0, 校外活動援助費 0, 合計 3,930,813
支出の部: 総会費 300,000, 会報費 2,300,000, 会報製作 450,000, 会報発送 1,850,000, 事業費 200,000, 運営費 400,000, 事務用品費 10,000, 通信費 10,000, 慶弔費 60,000, 学校後援費 300,000, 渉外費 30,000, 予備費 320,813, 校外活動援助費 0, 合計 3,930,813

- 創立100周年記念事業計画
(1) 部室棟屋根外壁塗装
(2) Konan Dream Challenge Project
(3) 創立100周年記念部活動発表会、展示会等補助
(4) 教育図書寄贈等
(5) 創立100周年記念誌発行
(6) 学校史資料の整理・保存活動
(7) 創立100周年記念寄付金芳名録
(8) 創立100周年記念グッズ製作費等

まなびや基金
真壁佐一様(高19回) 100万円
荒井寿一様(高24回) 100万円
築城 稔様(高33回) 300万円
ご芳志に感謝します

創立100周年記念募金の状況について
母校創立100周年に当たり、会員の皆様におかれましては多大なるご芳志を賜り誠にありがとうございます。2021年12月末現在における募金状況は総額約4,400万円となりました。すでに募金の一部は、学校の要請により老朽化した部室棟の改修等に使用し、現江南生が快適に利用し、大変感謝されています。しかしながら、募金額は当初目標とした金額には遠く及ばず、大変恐縮とは思いますが、再度のお願いをさせていただくことに致しました。なお、募金の使用方法については、総会でお諮りいただき承認されました記念事業計画により進めて参ります。同封の「創立100周年記念事業募金再度のお願い」をご覧くださいと存じます。何とぞご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

『卒業10年毎会費』納入のお願い
会員の皆様には日頃より同窓会活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。会費は会員の皆様にお届けする会報の製作・発送、さらには現役生徒への援助費等に活用させていただいております。今回は高23回 高33回 高43回 高53回 高63回の皆様を対象になります。ご協力をお願いいたします。

「自主自律」は本校の訓。玄関前の石碑に刻まれ、生徒手帳では見返しに掲げられ、普段はほとんど意識されない。いや、それでよい。自主自律を!と叫んだ時点で、自肅の要請と同様の奇妙な事態になる。しかし、世間の空気はさぞおき、それぞれの思いや考えを大切にすることで、新しい暮らしが生まれるかも。そうした自力で思索する姿勢とその方法を身に付ける場としての高校は守りたい。夏莉一裕(高27回)

硬軟
コロナ禍で一年間、65分50秒の通常授業が不可能だった。全国一斉の休校の後には25分や50分などの短縮授業で、学年別の登校やクラス分けもありネットを介した配信も試みる。拙文をお読みの今はどうな状況か。いつもの生活ができないこの時期、全ての人がとまどっただろうが、逆に、自ら感じて考える「自主自律」的な思考に導かれた。例えば、学校として守るべきは、対面授業が40人クラスか65分か。そもそも高校はどの程度の「不要不急」か。さらに社会的には、自らすすんで言動を慎む「自肅」を他から要請されることへの違和感、それでも空気を読んで対処する人々のあり方など。感染予防の対策は専門家に委ねるにしても、個々の部分ではどうありたいかを自分で考える。